

45年の歴史に幕！ 江別地区市民まつりに想う



江別地区市民まつり
実行委員長 林 敏昭さん

昭和45年頃、江別駅前では各商店が集って、お祭りをやっていました。当時は商店街も活気があったので、どうせやるなら駅前だけでなく、地区全体を盛り上げたいねと始めたのが「江別地区市民まつり」です。

市民まつりを彩った打ち上げ花火

江別地区市民まつりでは花火をあげていますが、あれは、石狩川で行われていた大規模な花火大会が無くなったあと、江別市から花火大会が無くなってしまい、なんとか復活できないかと奔走して、やっとの思いで市民まつりに合わせて開催したものです。初めて打ち上がった花火を見たときは、涙が出るほど喜びましたよ。

市街地に近いので小さい花火しか上げられなかったのですが、市民まつりに来た人たちも、たった20分間の花火だったけれど、喜んでくれていたと思います。

土佐の大綱とともに引き継がれる想い

大綱まつりは土佐市との友好都市提携の記念で始まり、これまでに37回開催しました。当時、全長120m、重さ2tくらいのワラ製の巨大な綱が送られてきて、本当にびっくりした思い出があります。江別地区の目玉でもあったこの大綱は、来年から野幌地区の祭りに引き継がれます。

江別地区市民まつりが始まって45年、なんとか祭りの火を消さないようにと続けてきましたが、運営が難しくなり、やむなく今年で終える決断をしました。

江別地区市民まつりは終わりますが、私たちの想いは、大綱とともにこれからも引き継がれていくと信じています。

1)～5) 江別地区市民まつり

1 千歳川から打ち上げられた花火に見入る観客 2 笑顔で盆踊りを踊る子ども 3 餅まきには多くの人が集まった 4・5 江別地区市民まつりの目玉、土佐の大綱引き

6)～9) お気に入りの品に出会えるやきもの市 10) 欄外) 迫力の演舞が間近でみられる北海鳴子まつり 11) 豊幌地区まつりでは子どもたちが作成した夢神輿が練り歩く



江別の 夏祭り

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「やきもの市」「北海鳴子まつり」「市民まつり」など大規模イベントが相次いで中止となりました。なかでも、「江別地区市民まつり」は開催が見送られた今年、45年の歴史に幕をおろすことになってしまい、残念に感じている方も少なくないのではないのでしょうか。

今月号は江別地区市民まつりに想いをはせ、また活気ある江別の姿に早く戻れることを願って、過去の祭りを振り返ります。